



—マスクを正しく着けよう！ 手洗いを正しくしよう！—

社会福祉法人 高知小鳩会 理事長 南 守 氏



新型コロナウイルス感染症(ウイルス)は、世界中で猛威をふるい、いまだに先の見えない状況で、楽しいはずの家族旅行が何か後ろめたい気持ちで心から楽しめない、そんな嫌な日が続いています。

人類は、これまで、ペスト、痘そう(天然痘)、コレラ等の感染症の流行で、多大な苦難を経験してきました。何度も存亡の危機に追いやられたこともあります。感染症を根絶することは、正に人類の悲願と言えるものです。

このウイルスに対しては、自分一人がどう行動してもあまり関係ないだろう、などと一瞬たりとも考えないことです。関係のない人などいません。全員が当事者であり、私たち全員の努力が必要なのです。人間は、脅威は小さくあってほしいという願望を持つもので、実際に、あたかも風邪やインフルエンザとそんなに変わらないかのように考え行動しようとしています。しかし、このウイルスはそんなに”やわ”でないことを肝に銘じていただきたいと思います。

誰もが等しくウイルスに感染する可能性があるように、誰もが助け合わなければなりません。

その助け合う行動が『三密』を避けることはもちろんですが、第1は、飛沫感染防止です。まず、自分が新型コロナに感染しているかもしれないという意識を強く

持ち、人が近くにいる場合は必ずマスクを正しく装着できるようになることです。マスクは会話をするとき、口から出る沢山の飛沫(一個の飛沫に新型コロナウイルスが千個以上含んでいるといわれています)が外へ出るのを防いでくれます。第2は、接触感染防止です。まず、自分の手指にウイルスがたくさん付着しているという意識を持ち、手指消毒をしっかりすることです。日常的な手洗ではなく洗剤を用いる衛生的手洗い(感染予防のための手洗い)やアルコール等の手指消毒を正しくできるようになることです。

あえてマスクの装着や手洗い等に『正しく』という言葉をつけました。マスクをしていても、手洗いをしても正しくできていなければ、ウイルスの防御効果は半減します。私の施設でも全職員が知識ではなく身体に覚え込ますのに3ヶ月を要しました。職員の頭に植え付けられているのは、自分が1回だけ手洗いを怠ったために多くの利用者や同僚に感染させてしまう恐れがあるということです。

一方、知的障害を持つ我が子らは、このようなウイルスに対する防御行動をとることは、かなり困難なのではないでしょうか。マスクを嫌がる、手洗いも不十分な仲間に我が子が感染させられるのではと不安を覚えるご家族もおられると思います。そのため、我々家族や施設関係者が一緒になってウイルスが可能な限り存在しない環境を常に保っていくことが大事だと思っています。

【事務局】〒650-0016 神戸市中央区橘通 3-4-1 神戸市立総合福祉センター2F 2020年8月11日発行第48号

電話 078(371)3930 FAX078(371)3931 Email : h-kazoku-net@alpha.ocn.ne.jp 表紙題字/沼野 聡美氏

発行人/兵庫県知的障害者施設家族会連合会(ひょうごかぞくねっと) 編集人/広報委員会

URL : <http://h-kazoku.ivory.ne.jp/>

2019年度事業報告・会計決算報告／2020年度事業計画・会計予算

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2020年度評議員会は、6月26日書面での開催となりました。第1～5号議案すべて承認され、評議員様には結果を郵送でお送り致しました。今年は、研修会も残念ながら開催できませんでした。

昨中央法規出版から発売された全施連の書籍「地域共生ホーム」は、全施連から5,566冊販売され（2020年7月末現在）、その内ひょうごかぞくねっとでは、815冊販売致しました（内贈呈11冊）。皆様ご購入ありがとうございました。今年度「地域共生ホーム」を使って、研修会や意見交換会を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染の影響で活動はストップしています。

議題	第1号議案	2019年度事業報告について	賛成 62	反対 0
	第2号議案	2019年度会計決算報告について	賛成 62	反対 0
	第3号議案	役員改選について	賛成 62	反対 0
	第4号議案	2020年度事業計画(案)について	賛成 62	反対 0
	第5号議案	2020年度会計予算(案)について	賛成 61	反対 1

評議員の皆様、議決権行使書のご提出ありがとうございました。

2019年度会計決算報告

2019.4.1～2020.3.31 (円)

1. 収入の部

会費(賛助会費含む)	4,760,000
寄付金・保険手数料	390,776
書籍販売収入	1,302,600
雑収入	33,288
負担金(全施連から給与手当他)	1,230,000
前年度繰越金	2,508,573
合計	10,225,237

2. 支出の部

会議費・旅費	588,275
印刷費	82,330
通信運搬費	348,210
研修費	1,382,970
事務消耗品費	480,146
負担・分担・渉外費	269,978
給与手当(全施連給与含む)	2,560,000
法定福利費・福利厚生費	526,063
書籍仕入代金	1,302,600
雑費	534
新聞図書費	6,480
次期繰越金	2,677,651
合計	10,225,237

2020年度会計予算

2020.4.1～2021.3.31 (円)

1. 収入の部

会費(賛助会費含む)	4,744,000
寄付金・保険手数料	390,000
雑収入	20,000
負担金(全施連から給与手当他)	1,230,000
前年度繰越金	2,677,651
合計	9,061,651

2. 支出の部

会議費・旅費	350,000
印刷費	120,000
通信運搬費	360,000
研修費	1,000,000
事務消耗品費	500,000
負担・分担・渉外費	430,000
給与手当(全施連給与含む)	2,600,000
法定福利費・福利厚生費	560,000
雑費	10,000
新聞図書費	6,480
予備費	3,125,171
合計	9,061,651

2020 年度役員改選

今年度は下記役員にて活動します。

役 職	氏 名
会 長	由岐 透
副会長	三浦 雅春
副会長	吉岡 京子
副会長	寺澤 節子
副会長	野口 雄二
副会長代理	木村 政照
理 事	松端 信茂
理 事	高野 國昭
理 事	西 博司
理 事 阪神	笹川 かほる
理 事 阪神	小山 京子
理 事 阪神	山口 英治
理 事 阪神	田中 佳子
理 事 阪神	服部 満知子
理 事 神戸	呉 珀華
理 事 神戸	川村 幸子
理 事 神戸	小野寺 良三
理 事 神戸	出来 竝江
理事 東北播磨・淡路	今井 サチ子
理事 東北播磨・淡路	武市 君江
理事 東北播磨・淡路	山口 静子
理事 東北播磨・淡路	中右 厚子
理事 西中播磨	上田 茂
理事 西中播磨	松田 文一
理事 但馬・丹波	高林 恵子
理事 但馬・丹波	佐山 忠行
監 事	岩本 四十二
監 事	楯 順
顧 問	堺 執
顧 問	木村 三規子

退任:平山 昭利(副会長、西中播磨会長)

鳴瀬 京子(理事、東北播磨・淡路)

谷田 明(理事、但馬・丹波)

退任される平山様、鳴瀬様、谷田様、
長きに渡り、ひょうごかぞくねっとに
ご尽力いただき、心より感謝申し上げます。



《就任御挨拶》 副会長(こうべかぞくねっと会長) 野口 雄二

長く貢献された木村副会長(前こうべかぞくねっと会長)の後任となりました野口です。神戸光生園の家族会では会長3年程と現在は監事をしております。園は施設長や支援員の皆さんが頑張っておられる通所の施設です。会長を経験して親なき後の不安をお持ちの親御さんが沢山おられる事を知りました。ひょうごかぞくねっとの活動を通して少しでも不安を取り除けるように各先輩方や会員皆様と一緒に頑張りたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

2020 年度事業計画

- ・ 全施連への協力
- ・ 24 時間一貫した快適な入所施設の新設の請願継続
- ・ 行政機関への陳情と意見交換の充実
- ・ 組織の拡大と強化
- ・ 活動力強化の研修会
- ・ 理事の人員変更
- ・ 家族会内部問題検討会
- ・ 友誼団体との連帯強化
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大や災害における対応

2020 年度年間予定表

月	日	内容	備考
4	下旬	2019年度会計監査	幹事へ郵送
5	中旬	第1回正副会長会	書面開催
6	5	第1回理事会	書面開催
6	26	評議員会	書面開催
6	29	全施連社員総会	書面開催
	延期	第2回正副会長会	開催時期未定
	延期	第2回理事会	開催時期未定
	中止	全施連全国大会	
	未定	中央研修会	
	未定	第3回正副会長会	
	未定	第3回理事会	
	未定	意見交換会	
	未定	兵庫県知的障害者施設協会 懇談会	

※福祉の集い・福祉大会・賀詞交換会は中止となりました。

7月に開催予定だった正副会長会・理事会は、兵庫県の新型コロナウイルス感染状況から、延期致しました。感染拡大が続く中で、今後の予定を計画することは難しく、現時点では、今後の予定は未定となっています。

新型コロナウイルスに対して ～加古川市立つつじ園の取り組み～ 園長補佐 橋本 剛志 氏

新型コロナウイルスの影響はまだまだ予断を許さず、都心では第2波が猛威を振るい、加古川市でも感染者は30名を超えました。(8月3日現在)

気が抜けない状況が続く中ですが私たち、加古川市立つつじ園(通所型生活介護事業所)は、感染予防に取り組みつつ、利用者様の受入れを継続して行っています。

つつじ園のみならず生活介護事業所が受け入れ停止となれば、利用される家族様の負担はとても大きいものになります。そうならないよう、利用者様、家族様と相談を重ね、できるだけリスクを軽減しながら受入れが継続できるよう以下の対応を行っています。

①自宅での検温実施

朝、自宅での利用者様の検温を家族様にお願いしました。37.5度を越える場合は利用を控えさせていただいています。

②送迎車内での検温実施

自宅での検温ができなかった場合は、送迎バス内で利用者様の検温を行っています。

③マスクの着用

利用者様、職員のマスク着用をお願いしました。普段マスク着用されない利用者様にとってマスク着用は大きな負担になります。それぞれの障害特性に応じて説明の工夫やマスク着用の練習を行い全員ではありませんが多くの利用者様がマスクを着用できるようになりました。

④外出・行事の自粛

3密を避ける意味でも利用者様、家族様にご理解いただき、行事等を控えさせていただいています。

⑤歯磨き支援の中止

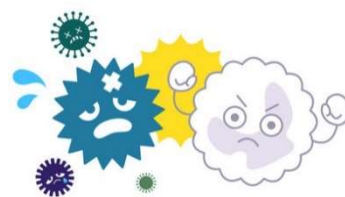
歯磨きは利用者様にとって大切なカリキュラムです。ですが、感染のリスクが大変高いため、自粛とさせていただいています。

それ以外にも、こまめな消毒や換気、来園者の検温・消毒などの対応を行っています。

一時はマスクやアルコール消毒液が入荷しない期間もありましたが、その中でできることを丁寧に行うことで現在に至っています。

しかし常にリスクはあります。利用者様の支援においてソーシャルディスタンスをとることはほとんど不可能です。リモートで支援は成り立ちません。様々な障害特性を持たれた利用者様を安全に支援する為、私たちはできることを精一杯おこないつつもリスクを背負い日々取り組んでいます。

最後に一日も早く、この世界的大流行のウイルスが終息し、利用者様が安心して利用できるよう、また皆様が安心して生活できるよう、施設職員一同心より祈る次第であります。



全施連提言Ⅱ「地域共生ホーム」

—知的障害のある人の

これからの住まいと暮らし—

全国知的障害者施設家族会連合会編著

中央法規出版(株)

会員価格: 1,650円(税込)

お問い合わせは事務局へ

TEL:078-371-3930

FAX:078-371-3931

Email:h-kazoku-net@alpha.ocn.ne.jp



〈広報委員の思い〉

新型コロナウイルスは、瞬く間に全国に広がっています。私の息子が入所している施設も3月から面会禁止の対応となり、6ヶ月の間顔を見ていません。施設職員の感染防止の日夜に頭が下がる思いです。一方、日本政府の対応は、後手後手の対応で、政府支給のマスクについて、ある新聞のコラムでは、電車で1名も見つけられず、口・鼻を覆うのでなく、目を覆うばかりと掲載していましたが、官邸と民意のずれに悲しくなりました。

今年度は広報委員の活動ができず大変申し訳なく思っていますが、皆さんもお体を大切に新型コロナウイルスに感染しない様に、互いに注意を致しましょう。(理事・広報委員・春日育成苑評議員 佐山 忠行)